令和３年度　各会計

決算報告

町民の皆さまから納めていただいた大切な税金が、どのような目的に使われたのか。その状況についてお知らせします。

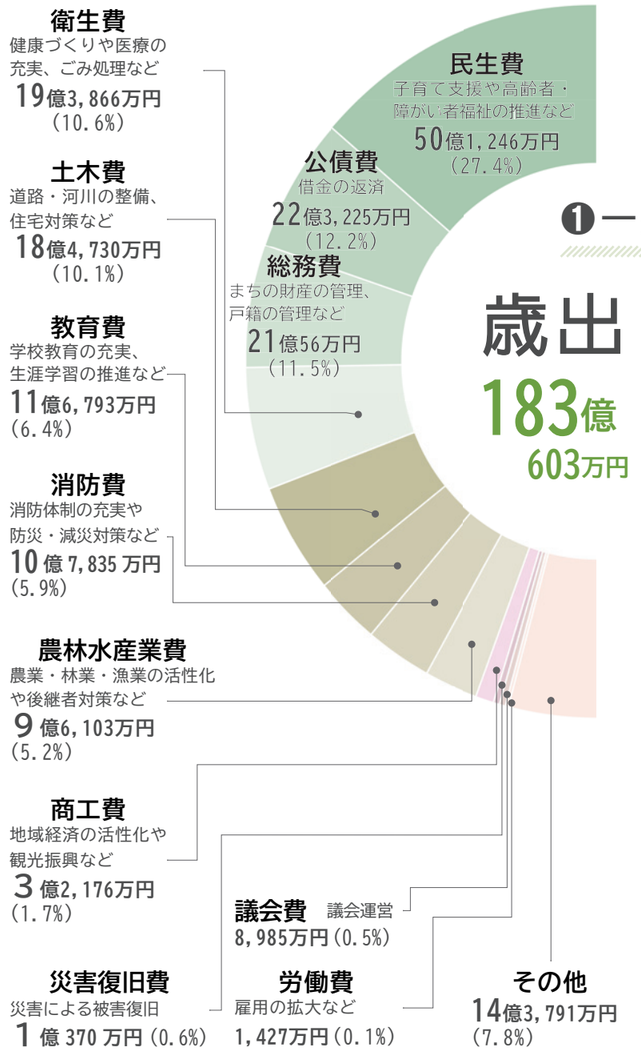
【問合せ】　静内庁舎総務課 ☎ 49 - 0259（直通）

❶一般会計

歳出 183億603万円

令和２年度と比べて約2.0%減少

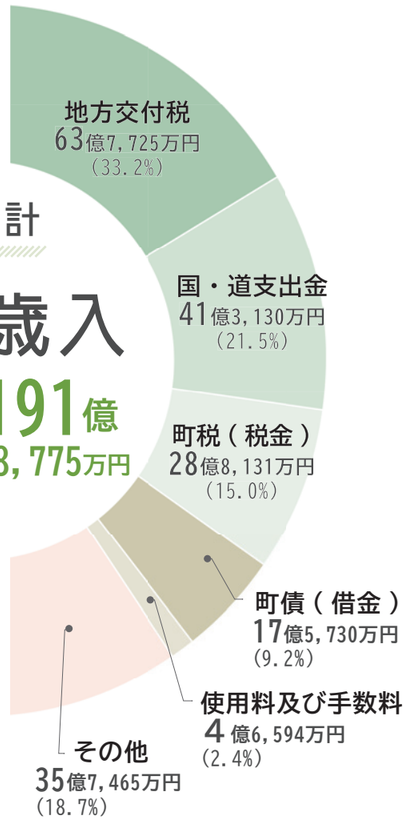
歳出は、一般会計で183億603万円となり、前年度に比べ３億6,890万円減少しました。高齢者施設運営事業や防災行政無線デジタル化整備事業、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業などが増加する一方で、特別定額給付金支援事業や介護サービス事業特別会計繰出金、新型コロナウイルス感染症対策事業の減少などにより減額となっています。



歳入 191億8,775万円

令和２年度と比べて約1.8%増加

歳入は、一般会計で191億8,775万円となり、前年度に比べ３億3,996万円増加しました。地方税や国庫支出金、繰入金などが減少する一方で、地方交付税や道支出金、諸収入、地方債の増加などにより増額となっています。



詳しい決算状況は、町公式ホームページに掲載しています。

町公式ホームページ「令和３年度決算」QRコード

❷特別会計　下水道事業　３億457万円の赤字

一般会計から合計10億円を超える金額を繰り入れしていますが、それでもなお、２億円を超える赤字が生じています。非常に厳しい経営状況が続いていることから、令和４年度より簡易水道事業および下水道事業を企業会計に移行し、そのメリットを最大限に発揮できるよう、経営改善に努めています。

決算額　（単位：万円）

会計名	歳　入	歳　出	収支額
国民健康保険	26億9,442	26億8,385	1,057
後期高齢者医療	３億4,887	３億4,658	229
簡易水道事業	２億8,656	２億6,571	2,085
下水道事業	11億8,019	14億8,476	▲３億　457
合　計	45億1,004	47億8,090	▲２億7,086

一般会計からの繰入金　（単位：万円）

会計名	令和２年度	令和３年度
国民健康保険	２億　448	２億2,742
後期高齢者医療	9,851	9,570
簡易水道事業	4,855	4,899
下水道事業	３億7,961	６億8,005
合　計	７億3,115	10億5,216

歳入の45億1,004万円のうち、一般会計から10億5,216万円を繰り入れしています。

❸企業会計　病院事業　１億5,811万円の資金不足

水道事業の経営状況は安定していますが、病院事業では一般会計からの繰入金により、当年度純利益は１億1,596万円となりましたが、依然として１億5,811万円の資金不足を抱えている状況です。公立病院として地域の医療体制を維持するため、不採算な診療科目も開設しており、厳しい経営に影響しています。

決算額　（単位：万円）

会計名	歳　入	歳　出	当年度純利益
水道事業	６億5,774	７億2,033	6,231
病院事業	21億9,781	21億7,908	１億1,596
合　計	28億5,555	28億9,941	１億7,827

当年度純利益は、歳入と歳出の差し引き額ではなく、当該年度の最終的な儲けを表しています。

一般会計からの繰入金（単位：万円）

会計名	令和２年度	令和３年度
水道事業	1,480	1,853
病院事業	７億5,920	７億3,981

余剰資金・資金不足（単位：万円）

会計名	余剰金・不足金
水道事業	７億　861
病院事業	▲１億5,811

【用語説明】

繰入金とは、一般会計と特別会計の間などで、一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から現金の移動を行うことです。

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするため、一般会計とは経理を別にしています。

企業会計とは、民間企業と同様に、事業の収益によって運営している会計です。地方公共団体が経営する企業を「地方公営企業」といいます。

【企業会計のメリット】

①経営・資産などの正確な把握による経営管理の向上
- 計画的な経営基盤の強化、財政マネジメントの向上
- 適切な料金算定
- 議会や住民のガバナンス向上

②弾力的な経営
- 住民ニーズへの迅速な対応